

## 国際理解教育の研究教科の中で使用しました。

### 大阪府大阪市立関目東小学校

利用セット「東南アジア・南アジア 小学校高学年向」

利用時期 平成 25 年 5 月 22 日～7 月 10 日



#### 関目東小学校の阪口先生に伺いました。

Q 学校図書館セット貸出しを申し込まれた理由を教えてください。

A 本校は、昨年度より国際理解教育を研究教科とし、外国との交流などに取り組んでいます。また、平成 25 年度は、調べ学習に図書をもっと取り入れようと決めていました。そんな時、図書主任の先生から、この貸出しのことを教えてもらい、申込みました。

Q 授業の中では、どのように活用されましたか？

A セットは全学年で利用しました。国語(図書の時間)、社会、総合的な学習の時間を使い、学年ごとにセット本を使った様々な取組を行いました。



例えば、6 年生は、図書の時間や休み時間、読書タイムを利用して読書活動に取り組みました。児童は、他の国のいろいろな本に興味を持ち、読み終わるとすぐに他の本を手にとって集中して読んでいました。また、隣や同じ班の児童に「こんなことが書いているよ」と紹介し合ったり、リズム打ちしながら読んだりしている児童もいました。山形県の小学校からの読書郵便がセットに同封されていたのですが、その手紙(感想文)を読んで「上手に書いているな」と感心していました。

Q 工夫した点はありますか？

A セットの本は、全学年をブックトラックで移動していったので、冊数の確認などがスムーズにできるように、チェック表を回して行いました。読書郵便は、図書と一緒に各学年に渡して掲示するようにしました。

Q 子どもたちの反応はいかがでしたか？

A 自分の学年で学習している国について、たいへん興味を持って見たり読んだりしていました。また、その他の国についても、『ぐりとぐら』が外国語に翻訳されていることを発見したり(事務局注: 東南アジア・南アジア小学校高学年向セットには『ぐりとぐら』のタイ語版が含まれています)、食べ物に興味を持って「食べてみたいなあ」とつぶやいたり、世界に目を開くひとつのきっかけとなりました。(2014 年 1 月)



国際理解教育でのご活用ありがとうございました。他校からの読書郵便も、全学年で積極的に使っていただきました！

国際子ども図書館担当より